

【平成 29 年度 第 2 回立川市青少年問題協議会 会議概要】

■ 日 時 平成 30 年 2 月 20 日 (火) 15:30～

■ 場 所 立川市役所 302 会議室

■ 出席者

清水市長、大霜副市長、伊藤委員、瀬委員

杉本委員、石川委員、市川委員、磯田委員、小林委員、原田委員、斉藤委員、
新藤委員、荒井委員、石井委員、伊藤委員、榎戸委員、福本委員、

小林 (三) 委員、田中委員、吉留委員、坂下委員、永井委員、大久保委員

古木委員、久下氏 (信岡委員代理)、駒形氏 (古市委員代理)、岡野委員、

早川委員、松本委員、小町教育長、井土委員 (※づちは土の右上に「、」)

(委員数 39 名の内、代理も含め) 合計 31 名

(事務局) 吉田子ども家庭部長、神崎子ども育成課長、青少年係長、青少年係主事

■ 傍聴者 なし

(※会議は公開)

(事務局 配布資料)

1. 立川市青少年問題協議会条例
2. 立川市青少年問題協議会委員名簿
3. 平成 30 年度立川市青少年健全育成市民行動方針 (案)
4. 平成 30 年度立川市青少年健全育成市民行動方針 たちかわっ子向け (案)
5. 平成 30 年度立川市青少年健全育成事業予定表 (案)
6. 第 37 回立川市中学生の主張大会収録集
7. 「2018 年成人を祝うつどい」実施報告
8. 第 53 回立川市青少年健全育成研究大会パンフレット
9. 第 53 回立川市青少年健全育成研究大会アンケート集計結果

(薬物乱用防止推進立川市協議会 配布資料)

1. 薬物乱用防止ポスター及び標語入賞作品
2. 第 21 回立川市薬物乱用ダメ・ゼッタイフェアチラシ

(体育協会)

1. 平成 29 年度立川市体育協会活動紹介

1 青少年問題協議会会長あいさつ

日頃から青少年の健全育成事業に対し、立川市すべての団体にご参加いただき、子どもたちを見守り、指導いただいていることに感謝しております。

インフルエンザが流行している中で、皆様におかれましては現場でのご苦勞もある中、子どもたちのお世話をさせていただいていることに感謝申し上げます。

今年度最後の協議会で、日頃の皆様の活動の中から様々なヒントをいただければと考えております。

会議の円滑な進行をお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

2 議題

(1) 協議事項

ア 平成 30 年度立川市青少年健全育成市民行動方針（案）について

事務局

立川市では、平成 29 年度に「立川市青少年健全育成市民行動方針」を改訂し実践しているところである。今後、更に実践活動を充実していくために、現在の立川市青少年健全育成市民行動方針を、引き続き平成 30 年度の青少年健全育成市民行動方針として推進していきたい。

承認(異議なし)

イ 平成 30 年度立川市青少年健全育成事業予定について

事務局

青少年問題協議会に関する会議・研修・事業の主な内容について説明。

- 青少年問題協議会は、例年通り 7 月上旬と 2 月下旬を予定。
- 補導連絡会委員会・研修会は 6 月 29 日（金）、女性総合センターアイムホールを予定。
- 補導連絡会常任委員会は 7 月上旬、12 月上旬、3 月上旬の年 3 回を予定。
- 青少年健全育成研究大会は平成 31 年 2 月 2 日（土）、たましん RISURU ホール小ホールを予定。
- 青少年健全育成市民運動推進大会は 6 月 2 日（土）、たましん RISURU ホール小ホールを予定。
- 立川市中学生の主張大会は 11 月 3 日（土・祝）、たましん RISURU ホール大ホールを予定。
- 2019 年成人を祝うつどいは、平成 31 年 1 月 14 日（月・祝）、たましん RISURU ホールを予定。
- 薬物乱ダメゼツタイフェアについては、11 月上旬、たちかわ楽市内で開催予定。

承認(異議なし)

(2) 報告事項

ア 第 37 回立川市中学生の主張大会について

事務局

報告事項については、アからウまでを一括して報告。

第 37 回立川市中学生の主張大会は、平成 29 年 11 月 3 日（金・祝）に、たましん RISURU ホール・大ホールにいて開催した。当日は、一般来場者、関係者合わせて 450 名の参加があった。この大会を開催するにあたり、青少年健全育成地区委員会から地区内の各中学校にご協力をお願いし、原稿募集を行い、3,472 編の応募があった。一次審査では青少年健全育成各地区委員会より 120 編の作品を選んでいただき、その後、個人審査会で作品 15 編が選出され、当日発表した。

各発表者は、命の尊さという大きなテーマについて考察したもの、家族や友人そして周囲の大人との関わりの中で感じたことなど、自分の経験を通しての主張を自分の言葉で力いっぱい発表した。

市長賞には、立川第七中学校1年生の張替望恵さんの「命の尊さを語り継ぐ」が選ばれた。

また、前年度の大会で表彰された35名のうち中学校1年生と2年生の作品を、主催者である立川市から「中学生の主張東京都大会」兼「少年の主張全国大会東京都予選」に推薦する取り組みを行っている。昨年9月に開催された東京都大会では、立川第二中学校の常盤 奏さんがこころの東京革命協会会長賞、12名が会長特別賞を受賞した。

また、立川国際中等教育学校の村岡 菜々さん、渡辺 結心さんがこころの東京革命協会会長賞を、細川 彩花さんが審査員特別賞を受賞するなど、立川市の中学生が活躍した。

今後も中学生が成長する機会、挑戦する場となるよう継続して事業を実施していく。

イ 「2018年 成人を祝うつどい」について

事務局

「2018年 成人を祝うつどい」は、平成30年1月8日（月・祝）にたましんRISURUホールで開催した。対象者は1,846名で当日は新成人1,079名の式典への参加があった。

開催にあたり、青少年健全育成地区委員と市民公募による実行委員会を立ち上げた。6月から新成人の実行委員を中心に活発な意見交換を行い、記念アトラクションとして明治大学アカペラサークル Sound Arts aLegLe（サウンドアーツ アレグレ）の皆さんの歌、立川女子高等学校ダンス部の演技、立川市に縁のある著名人「はいだ しょうこ」さんからのビデオメッセージ等を実施し、地下の交流会場では実行委員が作成した地域の写真展や「懐かしの給食コーナー」と題し、おでんなど新成人にとって思い出深いメニューを用意し好評であった。

今年は昨年同様、トラブル回避のために式典開始時間を12時からとしたこと、案内状の封筒を入場券とし会場への入場者を把握したこと、登壇防止のために舞台花道を装飾したこと、立川警察署にもご協力いただき警備体制を強化したことなどが功を奏し、厳かな式典となった。

関係者の皆様におかれましてはご協力ありがとうございました。

ウ 第53回立川市青少年健全育成研究大会について

事務局

第53回立川市青少年健全育成研究大会を2月3日（土）、たましんRISURUホール・小ホールで開催した。

当日は、地域で青少年の健全育成に関わっている方やPTAを中心に103名の参加をいただいた。今回は、聴覚障害者として世界で初めてエベレストに登頂した田村 聡（たむら さとし）さんに「勇気と努力で道は開ける」をテーマにお話しいただいた。第53回立川市青少年健全育成研究大会アンケート集計結果の通り、59名のご回答のうち54名（91.5%）から高い満足度をいただいた講演となった。

（報告事項に対する質問は無し）

5 情報交換

立川警察署

立川署管内（立川市、国立市の合計）の成人を含めた犯罪認知状況。刑法犯は2,638件で一昨年より289件減少。特殊詐欺件数は61件の発生で21件の増加。被害総額は昨年約1億8,000万円、一昨年は1億5,000万円、3,000万円の増加。本年に入ってからのは2件で、約200万円の被

害となっており減少傾向。少年犯罪は昨年1年間の暫定値だが、非行少年の検挙補導人員は警視庁管内で5,600人。一昨年比130人減少で、8年連続で減少している。補導を中心とした不良行為少年の人員は37,000人。前年比3,000人増加で9年ぶりに増加。

今年度の特徴としては、万引きの補導人員は1,700人で7年ぶりの増加。振り込め詐欺の出し子を中心とした補導人員は100人を超え、4年ぶりの増加。痴漢、盗撮、客引きが増加傾向。SNSを利用したサイバー空間での犯罪も低年齢化しており増加している。凶悪犯、粗暴犯も約3割増加。少年犯罪の半数以上が万引きや自転車盗を含むものだが、窃盗犯は減少し、喫煙行為も減少。深夜徘徊が約1割の増加傾向。

立川警察署管内の非行少年の件数は、昨年1年で約120件、一昨年は140件で20件減少。補導人員は約340件で、前年比1割減少。インターネットの犯罪の増加等により、本年2月1日に東京都青少年の健全な育成に関する条例を一部改正する条例が施行された。

自画撮り被害を防止するため、児童ポルノの提供を求める行為を禁止する規定が罰則付きで設けられた。少年本人はもとより、青少年に有害な環境を及ぼすものの取締りを積極的に行っていく。ご支援ご協力をお願いします。

多摩立川保健所

平素より関係機関の皆様にはお世話になっております。最近の状況は大きな変化がないため、報告は省略させていただきます。

立川少年センター

サイバー補導ではSNSを介した援助交際、デート援交を防止している。おじさんにお金をもらいながら散歩やデートをする、お金をもらう行為から売春等のより大きな問題に発展していく。これらを発見し次第、随時声を掛け、補導している。警視庁全体で500名、立川少年センターでも30名の補導。自画撮り被害防止の条例も施行されたこともあり、サイバー補導で犯罪に巻き込まれることを事前に防止していきたい。

立川公共職業安定所

全国で有効求人倍率は2倍を超えている。都内も2倍超、平成になって初めて立川でも1倍を超えて明るい状況になっている。子育て支援・助成を受けているお母さん方の就労も上がってきていて、皆様方のご協力の賜物と感謝している。中・高生もここ5年ほど就職状況は好調で、100%就職している。今年度も一人も残すことなく就職してもらえよう支援したい。

立川国際中等教育学校

中高一貫校として10年目。生徒の15%が立川在住。立川市の関係機関と連携し、教育活動を支えていただいていることに感謝している。様々な事業にも参加させていただいた。中学生の登下校で近隣に迷惑をかけているので、迅速に対応したい。今後でもできる限りのことをしていきたいので、ご指導いただければと考えている。

小学校長会

生活指導主任会での報告は小さな問題はあるが、大きな事件、事故はなかったと記憶している。これも各地区の見守り、各団体のご協力によるものと感謝している。いじめが減らずに統計的には増えている。これは子どもたちを教員がしっかり見ている、小さなトラブルも見えていることが要因。12月に立川市いじめ基本方針が改訂され、各学校でいじめの防止の取り組み、方針の見直しを行っている。いじめの数字は上がっているが、各学校で指導が入り、ほぼ解決も行えている。0を目指していく。

自画撮りの被害の半分以上が中学生、10何%が小学生でこれを防がなければならない。SNSを使ったいじめ、ラインのトラブルを防止することも小中の教育の課題。子どもたち一人ひとりの取り組む意識が大事。児童会サミットで各学校の児童が集まり、SNSのルールをについて自分たちで見直し、話し合いを行った。上からの話ではなく、子どもたちから意識が育つことも大事だと考えている。

中学校は部活動の子など、様々な子どもたちが出て、雪かきをした。地域への貢献、役立ちたいという意識が育ってきていて、健全育成が進んでいると感じる。

薬物乱用防止推進立川協議会

平成29年11月4日(土)に楽市会場で9:30~16:00まで薬物乱用ダメゼッタイフェアを行った。31団体にご協力いただき、ティッシュの配布、ポスター・標語の表彰式、東京税関の麻薬犬デモンストレーション等を行った。東京都への標語応募数が多く、率先校として市立中9校と立川国際が推薦された。五中に関しては、ポスターの部でも推薦された。立川の取り組みが熱心と感じる。30年度もまた、同様の活動をしていく。子どもたちの健全育成に少しでも協力できればと思います。一生懸命やってみますので、ご支援のほどよろしくお願いします。

体育協会

ジュニア育成の推進事業として4月から始め、体育大会の開会式では中学生の吹奏楽の演奏を依頼、10月の第3回泉市民体育館まつりでは体験型の活動としてボルダリングを行い、人気だった。12月には体験型の体幹トレーニングを、中学生を交えて行った。2月の市民体育大会の開会式では優良選手の表彰を、出席者に顔が見える形で行った。3/4にハーフマラソンがあるので多くの方のご協力をお願いしたい。

青少年健全育成錦町地区

小学校では1,2年生の歩行訓練を行っていると思いますが、訓練後も信号のない交差点で手を挙げる習慣をつけさせてほしい。また、3年生は自転車免許の試験後も安全運転を親も含めて指導してほしい。普段から安全に気をつける癖をつける指導を行っていただけるとありがたい。

小学校

各学校で歩行訓練、自転車教室を地域の方の力をお借りして行っている。どの学校でもはっとする瞬間があると話は聞く。命に関わることなので、どの学校でも十分に指導が行き渡るよう、ご意見があったことを周知して来年度に活かしていきたい。

若葉小学校とけやき台小学校が閉校になり、新たに若葉台小学校が開校する。市民公募で校歌と校章ができる。子どもたちがこんな言葉を入れてほしいと話合った。大人も意見を取り入れるので、ご協力をお願いしたい。

青少年健全育成柴崎町地区

警察への質問。補導340件のうち、他市から来たものを加えているのか?夜間徘徊はどの季節が多いのか?

警察

駅周辺では毎日補導活動を行っている。立川はハブ駅なので、他の県、市、区から来る者も含ま

れている。統計はないが、1～2割は該当するのではないか。
季節は夏の期間が比較的多い。

青少年健全育成柴崎町地区

自画撮り被害の男女の内訳は？

小学校

立川市内の統計ではないが一般的には女子の被害が多い。立川市内でも被害は0でなく、子ども同士で行う事例があったようなので市内教員も気を付けて対応していく。

4 その他

閉会の言葉

石川副会長

本日はご多用の中、ご出席いただきありがとうございました。本日学んだことを青少健でも活かしていきたいと思えます。皆様方におかれましては今後とも青少年の健全育成にご協力いただきますようお願いいたします。